

天童市議会だより

2016
8.1
No.153
TENDO



6月定例会

- 2 一般質問 10人
- 8 予算特別委員会 平成28年度補正予算
- 10 提出された議案とその結果
- 12 特集 議会報告・意見交換会の報告
- 14 市民の声・9月定例会の日程（予定）

▲荒谷いきいきサロンでは、荒谷小1、2年生と地域のおじいちゃん、おばあちゃんとカルタやけん玉等、昔遊びをととした交流会を行っています。交流後には一緒においしい給食をいただきました。



インターネットで
議会中継

天童市議会 で 検索

<http://www.city.tendo.yamagata.jp>

市政に対する一般質問



市政に対する一般質問は、6月10日・13日の2日間の日程で、10人の議員が行いました。

市長選挙三選出馬をはじめ、地域防災計画、児童・生徒の引きこもり等について、市長や教育長等の見解を求めました。

※議員の原稿をそのまま掲載しています。

※議会でもクールビズを実施しております（5月1日から9月30日まで）。

質問者と質問事項（☆印は会派名）

★市民クラブ

- 赤塚幸一郎 議員
- 市長選挙について
- 自治組織と築く協働のまちづくり推進について

★日本共産党大童市議団

- 石垣昭一 議員
- 人口減少対策と地域活性化に向けた取り組みについて
- 地域農業を守るために伊藤和子 議員
- 緑ある住みよい環境のまちづくりについて

★清新会

- 熊澤光史 議員
- 災害発生時の情報発信について
- 小学生の社会科学習について
- 菅原隆義 議員
- 観光と農業のトータルプロモーションについて
- 児童・生徒の引きこもりについて

山口桂子 議員

- 市役所での更なる行政手続きの簡素化に向けて
- 親しみやすい市庁舎として伊藤護國 議員
- 市長の三選出馬について
- 地方創生について

★政和会

- 三宅和広 議員
- 熊本地震を踏まえた天童市地域防災計画の見直しについて
- 自主防災組織等の育成について
- 収容避難所の運営リーダーの選出について
- 広報手段としてのコミュニティ放送局の活用について
- 松田光也 議員
- 国の地方教育行政に関する制度の一部改正に伴う本市の教育委員会の対応について
- 結城義巳 議員
- 安心できる介護制度の実現に向けて
- 自然環境の保全について



教えてケロっす

Q 一般質問って何ですか。

A 議員個人の立場から、市長等に対し、市政全般について質問することをいいます。

6 月 定 例 会

審 議 日 程

平成28年度第2回市議会定例会（6月定例会）は、6月3日から6月21日までの19日間の会期で開かれました。

初日の本会議では、市長提出の報告案件8件と、契約議案1件について採決が行われました。そのほか、予算議案3件及び条例議案等2件については、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、最終日の本会議に採決が行われました。

また、6月21日に契約議案等3件が追加提出され、採決が行われました。（採決結果は10ページに掲載してあります。）

月 日	内 容
6. 3 (金)	本会議（会期の決定、提案理由の説明、予算特別委員会の設置など）
6. 10 (金) ～6. 13 (月)	本会議（市政に関する一般質問）
6. 14 (火)	総務教育常任委員会（付託案件の審査）
6. 15 (水)	経済建設常任委員会（付託案件の審査）
6. 16 (木)	予算特別委員会（付託案件の審査）
6. 17 (金)	予算特別委員会（討論、表決）
6. 21 (火)	本会議（委員長報告、質疑、表決など）

市長選挙への対応は

赤塚 幸一郎 議員



11月に実施される市長選挙への対応について、時期的には出馬の意向が固まっているのではないかと推測して通告をさせていたのだが、去る6月2日の新聞に天童市長が三選出馬の意向を固めたと記され、6月議会の一般質問で正式に表明するとの記事だったので、正式な出馬表明を堂々としていたいただきたい。

山本市長 「笑顔 にぎわいしあわせ実感 健康都市」の実現を目指し、さまざまな施策を推進してきた。こうした中、社会経済情勢の変化に伴う新たな課題解決のために、三期目の市長選に出馬する決意を固めた次第である。

自治組織と築く協働のまちづくり推進を

自治組織町内会は、防災活動や環境保全及び住民の福祉向上などの活動を行っている。高齢化社会が進んでいく中、地域づくりの核を担っている自治町内会をいかにして維持・発展させていくこと

ができるか、現実にとりかかっていることとして、その内部組織である婦人会や老人クラブほか各種団体の弱体化が感じられる。行政側として自治組織に期待すること、行政との関係について、自治組織運営事業に係る費用負担のあり方などについて、考え方を伺う。



▲町内会の環境保全活動

山本市長 地域における共助の精神を育むため、自治組織における地域事業や隣組活動など、コミュニティ活動は重要と思っている。しかし、近年役員の高齢化や後継者不足、事業への参加が減少傾向にあるという声も聞かれ、弱体化を心配している。

費用負担のあり方については、特に地域の安全確保という観点からも互いに知恵を出し合いながらももう少し検討する余地があると思う。

集落の活性化に向けた団地造成を

石垣 昭一 議員



子育て世代の集まるような住宅団地、ミニ団地を開発してほしいという市民の声がある。寺津地区振興会議でも市に要望書を提出している。周辺集落のコミュニティ維持と既存集落の活性化を図るため、住宅団地を造成することについて、市長の考えを伺いたい。

山本市長 本市は、いわゆる線引き都市計画区域であり、市街化調整区域は、市街地を抑制すべき地域に位置付けられているが、田園集落における人口減少の抑制と地域コミュニティ維持のために、一定水準の居住の確保は必要であると考えている。

これまで住宅供給公社との連携による宅地開発で12団地、1090区画の良好な宅地を供給してきた。

現在、寺津地区のほか、他地域からも住宅団地開発の要望が多数寄せられているが、宅地を供給するための条件があるので、適地が選定できれば住宅供給公社と協議を進めたい。

農業委員会法改正に伴う取組みは

この度の法改正は、農民の地位向上の規定を削除。公選制の廃止、更に意見の公表や建議を削除するなど、制度の根幹を変質させる内容となっている。

地域農業の危機が深まる中、どう対応するのか伺いたい。

山本市長 今回の農業委員会等に関する法律の主な改正内容は、一つは農業委員会業務の重点化、二つは農業委員の選出方法の変更、三つは農地最適化推進委員の新設である。これらの改正内容については、国民や地域の貴重な資産である農地の利用の最適化を目的とするものであり、これは本来、農業委員会が有する使命を明確にしたものと認識している。

目的規定から農民の地位向上が削除されたことは、農民の地位向上をないがしろにするのではなく、農業の健全な発展に寄与することを意図するものと考えている。

緑ある住みよい環境のために協働の まちづくり推進を

伊藤 和子 議員



市は切れ目ない区画整理事業で公園や道路整備を進め、街路樹や植え込み、中央分離帯の整備を進めてきた。公園が増え、新設道路が増えているが、それを管理する委託料が増えている。どのような積算で予算を計上しているのか。山形県ふるさとの川愛護活動のように、区間を決めて、団体や企業などとアダプトを結び、協働のまちづくりをすすめてはどうか。その活動を支える市の支援策を充実させる必要があると思うが考えは。

山本市長 市民の憩いの場や地域の方々のコミュニケーションの場として、身近に自然を感じられる環境づくりを進めてきた。

現在、126か所の公園があるが、地域に密着した109か所は地域の協力をいただき、協働で維持管理を行っている。街路樹はマイロード事業や花いっぱい運動で町内会や団体の協力をいただいている。公園や道路の維持管理の

予算は、地域から寄せられた要望等を考慮し、予算配分を行っている。

大石建設部長 中央分離帯等の草刈りは、期日を決めて6月と9月から10月までに実施している。道路を安全に通行するのに支障がない許容範囲で、年2回分の予算を要望し実施している。



▲緑地帯の美化活動

倉津川緑地帯の 改修計画は

倉津川緑地帯の王将橋下流はサツキの生育が悪い。緑地帯の土の入れ替えをして整備する計画はないか伺いたい。

山本市長 倉津川緑地帯は、管理者である山形県から占用しているもので、改修が難しい土地である。植栽されている樹木の剪定や施肥等を行い、現状に合わせた樹木の環境整備を行い対応したい。

火事や事故、災害発生時に迅速な 情報を全市民へ

熊澤 光 史 議員



一人でも多くの人命を救うためにも、緊急時の迅速な情報発信が必要であると考えます。災害情報をリアルタイムに得られるようにホームページやメールなどを活用し、改善すべきだと考えるが、市長の考えを伺いたい。

山本市長 本市のホームページについては、今後システムの変更を行い、火災等の緊急情報について可能な限り迅速に掲載していきたいと考えている。メール配信サービスについても、本年度、高機能消防指令センターの更新に合わせて機能を充実し、メール配信サービスの災害情報登録者に対して、火災発生情報を配信していきたいと考えている。事故については、昨年5月から運用を開始した、やまがた110ネットワークサービスについて周知を図り促していきたいと考えている。

さらに、災害発生時の情報伝達方法については、自主防災組織を通じた情報伝達や登録制メール、各携帯電話会社の緊

急速報メール、広報車での呼び掛けなど、さまざまな手段を使った情報発信を考えている。

なりたいたい職業に基づいた社会科学習を

学校から社会、職業への移行が円滑に行われていない。

社会全体を通じた構造的な問題として捉え、若者個人の問題に帰することはなく、社会を構成する各界が一体となつて対応する必要があると考える。子育て支援日本一を掲げている本市だからこそ、より一層、将来を見据えた施策が必要であると考えているが、教育長の考えを伺いたい。

相澤教育長 義務教育期間の9年間を通して、望ましい勤労観、職業観を育むキャリア教育を計画的に行いながら、市内の施設を有効活用した体験学習等を体系的に進めていくことが大事だと考えており、積極的に取り組んでまいりたいと考えている。

観光と農業のトータルプロモーションを

笹原隆義 議員



本市の主力産業である観光と農業。この季節、本市の収穫・出荷量が県内第2位であるサクランボを求めて、多くの

の融合については、それぞれ持ち味が違うので、一度首長同士の会合で話を出してみて、そこで反応が良ければ挑戦していきたい。

観光客が訪れる。特に、観光農園でのさくらんぼ狩りは人気があり、観光と農業が一体となった産業である。しかし、農業生産者の多くが高齢化しており、全国の農業生産者の平均年齢は70歳を超え、後継者が不足している。農林水産省の統計によると、山形県は東北6県で一番の後継者不足である。また、観光についても観光客の数は伸び悩んでおり、東北6県が協力して観光産業に取り組み活路を見出そうとしている。本市でも

ラ・フランス、サクランボ、リンゴ、モモの収穫・出荷量は県内で1位、2位と全て上位である本市。しかしながら、その知名度不足は否めないのではないか。品質も含め本市の農産物は非常に優れているが、近隣自治体に比べアピールが弱い。ブランド力の構築を進めていくためにも、プロモーションの担当を明確にするため観光農業の横断的な課・係の体制を敷くべきと考えるが、市長の考えを伺いたい。

継続的なPRのために近隣自治体と共同でのプロモーションを強化していくべきと考え

山本市長 観光は非常に裾野の広い部門であり、様々な分野に関連していく。そのため一部を切り取って専門部署をつくるというよりは、それぞれの課題、事案に整理・連携して対応していくべきと考え

山本市長 各自自治体が精いっぱい誘客に努めている。山形県でも知事を先頭に各自自治体の連携による東京、首都圏でのトップセールスがある。ただ観光果樹園など観光と農業

の現状は、職員の連携が取れており、今後もしっかりと管理職を含めて対応していく。

市庁舎に「食堂」を設置すべきでは

山口桂子 議員



市庁舎1階にあった食堂がなくなりましたが、忙しい職員の方々が昼食を食べる場所として、また、市民の方、業者の方も気軽に食べられる。市民の憩いの場所として食堂が必要ではないか。



▲募集中の市役所食堂

山本市長 食堂は事業者との契約期間満了により今年5月から運営を休止している。これまで市内の事業者に限定して募集したが応募がなかったため、現在はホームページ等で市内外を問わず広く事業者を再募集している。今後も食事や休憩の場としてご利用いただきたいと考えている。

更なる行政手続きの簡素化を

庁舎1階のフロアレイアウトの改修による手続き等の改善等「天童市行政経営計画・アクションプラン」の中で行政手続きの簡素化についてどう取り組まれ、どのように検討し、改善した効果はどうか。

山本市長 市民の皆様にとってより利用しやすい市役所を目指し、案内サイン等にも工夫を取り入れ、職員の接遇の向上にもあわせた取り組みは一定の評価をいただいている。健康センターで行っていた子育て支援課の申請手続きや健康課の申請手続きの一部が市役所庁舎で行えるので、転入手続きから児童手当等一連の手続きを円滑に進めることができる。また、住民票・戸籍謄抄本、印鑑登録証明書の申請も1枚の用紙で3種類の申請を行えるように変更した。フロアレイアウト改修の効果については、カウンターなどがきれいに整備され印象が明るくなったのご意見をいただいている。

山本市長の三選出馬の決意は

伊藤 護 國 議員



山本市長の三選出馬については、6月2日の山形新聞に出馬の意向を固めたと報道されたが、本日、この本会議場において、市長の出馬に対する決意を改めて伺いたい。

山本市長 現在、二期目の最終年を務めさせていたでいる。初当選以来これまで、マニフェストに掲げた3つの日本一への挑戦、そして、その挑戦を支える市役所改革に取り組み、本市の将来都市像「笑顔 にぎわい しあわせ実感 健康都市」の実現に向け、施策を着実に推進してきた。その結果、いくら何でも市民の負託に応えることができたのではないかと考えている。

しかし、最近、急速に進んでいる人口減少問題等により、自治体の行政運営に対する様々な影響が懸念されている。このような厳しい社会経済情勢の中、人口減少や地域経済縮小などの課題を解決し、本市の未来を切り拓き、次の世代が安心して暮らせる

まちを築くことが責務であると考え、このほど三期目の市長選に出馬する決意を固めたところである。

山本市長の三選出馬については、6月2日の山形新聞に出馬の意向を固めたと報道されたが、本日、この本会議場において、市長の出馬に対する決意を改めて伺いたい。

教育に対する市長の考えは

教育が人間をつくり、人間が地域をつくっていくと考え、市長の教育に対する考えを伺いたい。

山本市長 人づくりイコール地域づくりであり、日本づくりでもあるので、人づくりは、教育委員会だけで考えるものではなく、市全体としてしっかり取り組んでいく方向で考えている。十分に教育の重要さというものを認識しながら進めていきたいと思っている。



天童市でも起こるだろう大地震に備えて

～自主防災リーダーの育成は～

三宅 和 広 議員



本市でもいつ大地震が発生してもおかしくない。本市の防災計画について伺いたい。

天童市地域防災計画では、地域の防災組織を活性化するために自主防災リーダーを養成するとしている。「防災士」は専門的知識を持っており、自主防災リーダーとして適任である。防災士が継続してリーダーをやれば防災組織の活性化につながると思う。

防災士の育成に市としてもっと力を入れる必要があると思うが、考えを伺いたい。

山本市長 本市では自主防災組織リーダーを育成するため、県の消防学校で自主防災リーダー研修を受講しており、これまで115名が修了した。また、昨年は県の防災士養成研修講座を市民の方から受講していただき、防災士8名が誕生した。

今後も、多くの方から防災士の資格を取っていただき活躍していただきたい。自主防災組織等に積極的にPRしていく。

収容避難所の開設と運営は

住宅が損壊した方などのために収容避難所を開設することとなるが、その収容避難所の開設と運営はどのように計画しているのか。

山本市長 避難所運営マニュアルを策定している。災害発生直後の混乱する時期は、市職員による避難所運営班が避難所を開設し運営にあたることとしている。その後、開設からおおむね3日目を目途に、各避難所毎に避難所運営委員会を設置し、自主防災会長等から避難所運営リーダーを選出していただき、市職員と協力して避難所を運営していくことにしている。

大きな被害が想定される!

山形盆地断層帯地震による天童市の被害想定

建物被害(全壊)	2,637棟
建物被害(半壊)	3,388棟
断水世帯率	93.4%
停電世帯率	36.1%
建物被害り災者数	14,204人
避難所生活者数	6,761人

(出典:平成14年山形盆地断層帯地震想定調査)

新体制となった教育委員会は

松田光也 議員



新教育長の抱負と、今後の教育委員会の資質向上や、委員会審議の活性化をどう図っていくのか。

また教育委員会のトップとなった教育長へのチェック機能と委員会審議の透明化はどうなるのか。

相澤教育長 教職の経験を通して、児童・生徒が生き生きと学校での学びを成長につなげるためには、周りから守られ、愛情が注がれること、その上で鍛えられ、自信をもって進む方向に見通しが持てる

ことが大切と考える。「守る―育てる―鍛える―教える―これら2つを柱としながら、本市教育委員会の果すべき役割に向かつてまい進してまいりたい。

教育委員会の資質向上については、山形県教育委員会大会の参加や市内小・中学校への訪問、先進地行政視察研修等を通して、自己研鑽に取り組む。

教育長へのチェック機能と会議の透明化については、委員2名以上からの請求により

会議の招集も可能となった。また、教育長の事務執行の報告を行い、委員によるチェック機能の強化の対応を図る。透明化については、教育委員会会議の議事録を速やかに作成し、ホームページを利用したの公表や会議の開催予定日を公表し、審議の透明性に配慮している。

天童市の教育等の振興に関する大綱は

「天童市の教育等の振興に関する大綱」は、本市の教育、学術及び文化の振興に関する施策の基本目標を定めたが、「天童市の教育」との整合性が図られているのか伺う。

相澤教育長 天童市の教育等の振興に関する大綱は、平成27年度から平成31年度までの5年間の基本目標を定めている。一方、「天童市の教育」については、当該年度の基本方針や重点施策、新規事業を中心に、大綱の基本目標の具現化を図っているものである。

安心できる介護制度の実現へ向け

結城義巳 議員



元気な高齢者になるため、市立公民館等を利用し介護予防事業を活性化してはどうか。

また、居宅介護重視と言っても、ヘルパー等のサービスを受けると利用料金の負担があり、低所得者にとっては大変である。介護休暇を取ると職場で不利益な処遇を受けないか心配である。市内企業で就業規則に介護休暇について定めている割合や利用している割合はどれくらいか。

山本市長 介護予防事業やデイサービスの「助け合い」による居場所づくりの準備を進めており、実施にあたっては市立公民館等の活用も積極的に考えていきたい。

介護サービスの利用料金については、所得が少ない場合、自己負担限度額を月1万5000円となる負担軽減を図っている。介護休暇等については「育児・介護休業法」によって制度化されている。介護休暇等を就業規則で定めている県内事業所の割合は77.7割である。その内、利用者がい

る事業所は6・2割と少ないが、法律改正によって来年1月から、介護休暇等が取り易くなるため、各事業所の有効な運用を期待している。

介護施設に頼らざるを得ない現状から、民間の地域密着型介護老人福祉施設の増設に、市としても積極的に支援をしており、介護料金が高くなっていると考えるが、介護保険制度発足時と比較し、どの程度高くなっているか。

また、市介護保険財政の25割が国庫負担となっているのを50割とし、70歳になったら介護保険料の負担を免除すべきであると考えがどうか。

山本市長 施設介護希望者が多いのは核家族化が進み、恒常的な居宅介護が難しいため、施設入所申込みが多くなっているものと推測している。現在の介護保険料基準額は月5400円で、発足時より2900円高くなっている。介護保険の財源負担については、発足当時、国では十分な議論を行っている。今後厚生労働省において検討すべきものと考ええる。

予算特別委員会

平成28年度一般会計補正予算

6億9693万2000円を増額補正し

254億5693万2000円に



一般会計6億9693万2000円を追加する補正予算は、予算特別委員会に付託され審査された後、本会議において、原案のとおり可決されました。審査の主なものは次のとおりです。

公共施設等 総合管理計画

委員 公共施設等総合管理計画策定支援業務委託料として378万円を計上しているが、公共施設等総合管理計画とはどのようなものか。

財政課長 国のインフラ長寿命化基本計画を受けて策定するものである。市が所有する建物、道路、橋、公園などすべての施設を対象とし、各施設の個別の長寿命化計画の上位に立つものである。10年以上の期間について計画を定めることとされているが、その期間をどうするかを含め具体的な内容については、今後、策定委員会を設け検討する予定である。

発電機と 照明機器配置

委員 自主防災組織育成整備費補助金の内訳は。

危機管理室長

自主防災会連絡協議会からの要望で申請したコミュニティ助成事業が採択され、140万円の助成を受けることとなった。事業内容は、発電機、バルーン照明などの照明機器を購入し、市総合福祉センターと市スポーツセンターに配備するものである。

蔵増小プール改修

委員 蔵増小学校のプール整備を行うが、間もなく夏を迎え授業に支障をきたさないか。また、他の小中学校の改修の予定はあるのか。

教育総務課長

今年には既存のプールを使用後、平成29年3月末までの改修となるため、授業への影響はない。今後、築造年度の古い高橋、干布、山口及び天童南部の各小学校も順次改修したいと計画している。



▲改修工事がはじまる蔵増小プール

予約制乗合タクシー 区域型を拡大

委員 本年10月を中途に成生・蔵増・寺津地区を路線型から区域型に運行形態を変えるところのだが、これからの運行体制は。

また、予約制乗合タクシー運行事業費補助金100万円の内容について伺いたい。

生活環境課長

平成22年9月から予約制乗合タクシー運行を開始し、これまでの利用者数は減少傾向にあったが、昨年度は増加傾向に転じて6023名になった。また、会員数は1283名となった。

区域乗合型の運行体制につ

骨髄提供者に助成

委員 保健衛生一般に要する経費の報奨金28万円の内容は。

健康課長 骨髄移植ドナー助成事業である。助成内容は、ドナー休暇がなく、市内に住所を有し、他の助成金等を受けていない者に対して、骨髄提供に関わる通院や入院の日数に1日あたり2万円を乗じた額を市が助成する。1回の提供につき7日間を限度とし、2名分の予算を計上した。現在、本市の骨髄バンクのドナーの登録者数は375名で、過去に5名が骨髄を提供している。

農業担い手への助成

委員 農業担い手の確保・支

援に関する経費について具体的に。

農林課長 農業用機械等への補助で、補助率10分の3、300万円を限度とする。具体的な購入機種は、トラクター、高所作業機、スピードスプレイヤ、汎用コンバインなどである。

荒谷西工業団地 分譲の状況

委員 荒谷西工業団地の分譲率は、起債残高は。

産業立地室長 今回の議案提出で83割。追加議案で90・24割になる。荒谷西の起債残高は天童インターの下水道管理センター跡地も繰り上げ償還に充当しており、今年度の繰り上げ償還によって、荒谷西の起債はすべてなくなる。

天童高原整備 まもなく完了

委員 天童高原施設整備工事費6675万円の内容は。

産業立地室長 平成24年度に策定した天童高原整備開発基本構想に基づき、平成24年度から平成28年度の5カ年で事

業を行い、最終年度である今年度については、待避所（2カ所）、遊具、草地広場、炊事場、駐車場、バンガロー、シャワー棟などの整備を実施する。



▲施設の充実した天童高原

清池南小畑線の整備

委員 道路新設改良費4億6210万円はこの路線か。また、その内訳は。

建設課長 工事関連委託料の500万円は清池南小畑線埋蔵文化財発掘調査費の労務単価の増額分である。改良工事費の4億3210万円は全て

清池南小畑線の工事費である。土地購入費1200万円は全て天童東根線の道路事業用地費である。工事関連補償金の1300万円の内1000万円が天童東根線、300万円が清池南小畑線の物件移転補償費である。

愛宕沼下に駐車場と トイレを新設

委員 天童古城地区の整備に要する経費約300万円はどのような工事が。

都市計画課長 愛宕沼下に普通自動車100台分と大型バス5台分の駐車場整備の進捗を図るための工事費及び多目的トイレ約88平方メートルの監理委託料である。

芳賀地区の 近隣公園整備

委員 芳賀地区の整備に要する経費約6872万円はどのような内容か。

都市計画課長 芳賀地区の近隣公園トイレと天童南駅の駐車場を整備する調査測量委託料が約440万円。近隣公園の一部の整備として6287万円、通称モンテロードの案内看板2基分として約146



▲天童南駅に設置された案内看板

万円を追加し、5基を整備するもの。

一般会計補正予算(第1号)のあらまし

主な内容 (単位：千円)

公共施設等総合管理計画策定支援業務委託料	3,780
予約制乗合タクシーの運行に要する経費	5,684
国民健康保険特別会計繰出金	1,320
保健衛生一般に要する経費	280
合併処理浄化槽の設置推進に要する経費	2,685
農業担い手の確保・支援に要する経費	9,505
農道の管理に要する経費	3,510
農用地の整備に要する経費	1,100
天童高原施設の管理運営に要する経費	66,750
地方道路の新設改良に要する経費	462,100
天童古城地区の整備に要する経費	2,960
芳賀地区の整備に要する経費	68,722
自主防災組織等の育成に要する経費	1,400
学校スポーツ・文化の振興に要する経費	937
小学校の管理に要する経費	66,213

提出された議案とその結果

平成28年度第1回市議会臨時会が4月26日に開催され、原案のとおり可決されました。また、平成28年度第2回市議会定例会に提出された議案とその結果は次のとおりです。

第1回臨時会（4月26日）〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
報第1号	平成27年度天童市一般会計補正予算（第10号）の専決処分の承認を求めることについて	報告
議第1号	天童市市税条例等の一部改正について	原案可決 (賛成多数)

議案番号	件名	結果
報第9号	平成27年度天童市情報公開条例の運用状況の報告について	報告
議第2号	平成28年度天童市一般会計補正予算（第1号）	原案可決 (全会一致)
議第3号	平成28年度天童市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決 (全会一致)
議第4号	平成28年度天童市工業団地整備事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決 (全会一致)
議第5号	天童市議会議員及び天童市長の選挙における選挙運動に要する費用の公費負担に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第6号	荒谷西工業団地の分譲地の処分について	原案可決 (全会一致)
議第7号	高機能消防指令センター整備工事請負契約の締結について	原案可決 (全会一致)
議第8号	荒谷西工業団地の分譲地の処分について	原案可決 (全会一致)
議第9号	市道清池南小畑線道路改良工事請負契約の締結について	原案可決 (全会一致)
議第10号	市道矢野目高橋線道路改良工事（橋梁上部工）請負契約の締結について	原案可決 (全会一致)

第2回定例会（6月3日～6月21日）〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
報第2号	平成27年度天童市一般会計予算繰越明許費の報告について	報告
報第3号	平成27年度天童市水道事業会計予算繰越しの報告について	報告
報第4号	平成27年度天童市公共下水道事業会計予算繰越しの報告について	報告
報第5号	交通事故に係る損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について	報告
報第6号	天童市土地開発公社の経営状況並びに事業計画の報告について	報告
報第7号	公益財団法人天童市文化・スポーツ振興事業団の経営状況並びに事業計画の報告について	報告
報第8号	株式会社スポーツクラブ天童の経営状況並びに事業計画の報告について	報告

議案等に対する議員の賛否一覧表（賛否が分かれたもの、これ以外は全会一致）

議案	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	氏名	熊澤光史	笹原隆義	三宅和広	遠藤喜昭	佐藤俊弥	渡辺博司	武田正二	水戸芳美	遠藤敬知	村山俊雄	狩野佳和	松田光也	山口桂子	赤塚幸一郎	結城義巳	後藤和信	山崎諭	石垣昭一	伊藤護國	水戸保	伊藤和子	鈴木照一
議案	会派	清	清	政	清	政	政	清	清	清	清	市	政	清	市	政	政	清	共	清	清	共	無
議第1号	天童市市税条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	議

※ ○＝賛成、×＝反対、議＝議長（議長は採決に加わらない。）

※ 会派：清＝清新会、政＝政和会、市＝市民クラブ、共＝日本共産党天童市議団、無＝会派に属さない議員

議会のうごき

■ 4月

- 7日 広報委員会
- 12日 山形県市議会議長会定期総会（議長、副議長、局長／山形市）
- 14日 広報委員会
- 21日～22日 東北市議会議長会理事会・定期総会（議長、副議長、局長／いわき市）
- 22日 市長要請総務教育常任委員会（天童市立中学校における情報管理規定に反した情報管理の事案について）
- 25日 佐賀県唐津市議会行政視察
- 26日 議会運営委員会、第1回市議会臨時会、全員協議会
- 27日 千葉県袖ヶ浦市議会行政視察
- 28日 市長要請各派代表者会

■ 5月

- 9日 市長要請総務教育常任委員会（イオンモール天童への期日前投票所の設置について）
- 11日 三重県菰野町議会行政視察
- 13日 全国自治体病院経営都市議会協議会総会
- 16日 愛知県岡崎市行政視察
- 16日～20日 議会報告・意見交換会（市内12会場）
- 17日 北海道根室市議会行政視察
- 19日 長野県須坂市議会行政視察
- 20日 各派代表者会、市長要請全員協議会（公益財団法人天童市文化・スポーツ振興事業団外の経営状況並びに事業計画の報告について）
市長要請環境福祉常任委員会（予約制乗合タクシードモスの運行形態の見直しについて）
- 23日 市民クラブ先進地視察（酒田市）

- 24日 市長要請各派代表者会、知事を囲む市町村自治振興懇談会（議長、局長／山形市）
- 27日 議会運営委員会
- 30日～31日 全国温泉所在地都市議会議長協議会総会、全国市議会議長会定期総会（議長、局長／東京）
- 31日 石川県加賀市議会行政視察

■ 6月

- 3日～21日 第2回市議会定例会
- 3日 広報委員会
- 15日 市長要請経済建設常任委員会（荒谷西工業団地の分譲地の処分について）
- 16日～17日 さくらんぼトップセールス（議長、市長／東京）
- 20日 議会運営委員会
- 21日 市長要請全員協議会（市立中学校教諭の道路交通法違反について）、広報委員会
- 28日 宮城県多賀城市議会行政視察
各派代表者会
議会運営委員会

■ 7月

- 1日 広報委員会
- 5日 愛知県清須市議会行政視察
- 8日 広報委員会
- 12日～14日 政和会先進地視察（函館市、伊達市、千歳市）
- 19日 徳島県阿南市議会行政視察
- 20日 山形県市議会議長会事務局職員研修会（南陽市）
- 21日 静岡県静岡市議会行政視察
- 25日～27日 清新会先進地視察（札幌市、苫小牧市、室蘭市）
- 26日 愛知県碧南市議会行政視察

ご利用ください メール配信サービス

天童市では、登録していただいた方に、災害、観光・イベント、健康・子育てなどの情報を、電子メールでお知らせするメール配信サービスを行っています。ぜひご登録ください。

※登録は無料です。ただし、メールの受信などにかかる通信料・パケット通信費は登録された方の負担となります。

かんたん登録（一括登録）

すべてのメニューを受信する登録方法です。

tndml@city.tendo.yamagata.jp

または、右の二次元コードに空メールを送信してください。



永年勤続表彰

5月31日に東京・東京国際フォーラムで開催された全国市議会議長会定期総会において、永年勤続として次の方が表彰されました。

◇議員20年以上

水戸 保 議員（平成7年10月1日～）



教えてケロっす

Q 一般質問の項目を議会が開かれる前に教えてください。

A 議会の日程や一般質問の項目は、議会初日のおよそ7日前から、市のホームページや市立公民館でご覧になることができます。

また、本会議や委員会を傍聴できますので、お気軽にお越しください。

※詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

議会報告・意見交換会

8回目となる議会報告・意見交換会を、5月16日から20日まで市内12カ所の市立公民館を会場に開催し、153名の参加者がありました。参加していただきました市民の皆様、大変ありがとうございました。

各会場で出されました議会・議員に対するご意見やご要望等は、議会運営委員会と議会としての対応を協議し、その対応をお知らせします。

また、市政に対するご意見・ご要望については、市民の皆様の貴重な声と受け止め、議会における政策立案や政策提言につなげていきたいと考えております。さらに、市長等に文書で提出します。

なお、各会場の報告書（簡易な会議録）については、市立公民館に送付してあります。また、ホームページからも報告書をご覧いただけます。

2班 荒谷・高掬・山口

伊藤護國、赤塚幸一郎、山口桂子、松田光也、武田正二、渡辺博司

3つの市立公民館での議会報告・意見交換会では、これまでになく活発な意見が多く出され、参加された方々の議会に対する思いが伝わってきた。高掬公民館での報告会では多くの女性の皆様にご参加をいただき、有意義な報告会となった。特に地域課題についての意見が多く出され、地域づくりに関する関心が高まってきていると感じた。

1班 成生・天童南部・蔵増

伊藤和子、結城義巳、村山俊雄、佐藤俊弥、熊澤光吏

毎回のように参加してくれる顔なじみの方や初参加の方もいて、厳しい意見も頂戴した。参加人数は多くはないが、意見交換の場になっていく所もある。議員と地域との繋がりが足りないのでとの指摘もあり、膝を突き合わせての論議ができる霧囲気づくりに努力したい。地域の役員を務めている方々からは、市から紙一枚でいろんな役割を推薦する依頼がくる事に不満が聞かれた。



4班 天童中部・津山・寺津

石垣昭一、後藤和信、遠藤敬知、遠藤喜昭、笹原隆義

「議会報告会への参加者が少ないが、集める手立てはないのか」と参加者から心配もされ、今後の議会活動に対し期待の声があった。出席された方々は、いずれも質問や意見も準備して参加しており、活発な内容のある報告会となった。今回は市内3カ所を担当したが、少子化問題や鳥獣害対策、公民館活動など、それぞれの特徴ある地域課題が話し合われ、議会報告会の意義を再認識した。

3班 長岡・天童北部・干布

水戸保、山崎諭、狩野佳和、水戸芳美、三宅和広

今回の議会報告・意見交換会は、市長部局で行うまちづくり懇談会が開催される前なのか、その地域のインフラ整備の進捗状況の質問が多く出された。詳細を知りたいという質問者もいるので、事前に通告などしてもらえばスムーズな意見交換会になるのではないかと感じました。

議会・議員に対する意見・要望等 (アンケートから)

議会報告・意見交換会の運営等

- *今日の参加者が少ないが、内容が濃い。充実している。
- *参加の議員の方が素直に返事していただいてよかったです。市の対応を即座に返事をしていただいたのは良かったです。
- *地元議員からも声掛けをすべきと思います。議会日より4月末日に配付されており、期間が長く忘れて来ていないのではないかと。
- *初めて参加しました。議員の皆さんのポリシーの無さにビックリしました。もっと自分自身を切磋琢磨しなければならないのではないのでしょうか。議員との話し合いが、街灯を付けてくださいとか、信号機を付けてくださいとかのお願いの場となっているのはどうでしょうか。それらのことは市の安全面を考えて市役所の方でもっと積極的に取り組むべきではないのでしょうか。
- *質問や意見に関しては事前に内容を地区公民館等に提出すれば詳細な回答をいただけるのではないかと。よい機会なので今後も参加させていただきます。
- *参加者が少ない。多数の参加を希望する。
- *議会報告会は大変良いことですが、時期はもう少し考えてください。一番農作業の忙しい時では出席率も悪いのではないかと。開催日の検討をして欲しい。
- *提案されました内容を市政に提案を！実現を期待しております。
- *各種団体への働きかけが出席拡大に繋がるのではないかと。
- *参加者のほとんどの方が発言されてよかったです。

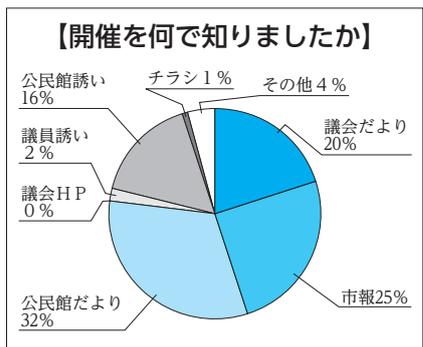
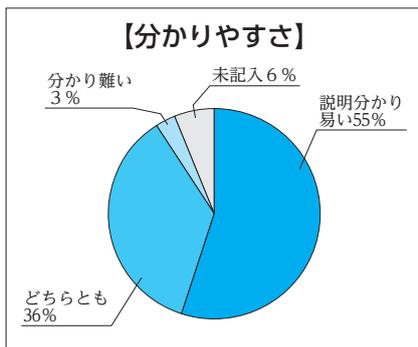
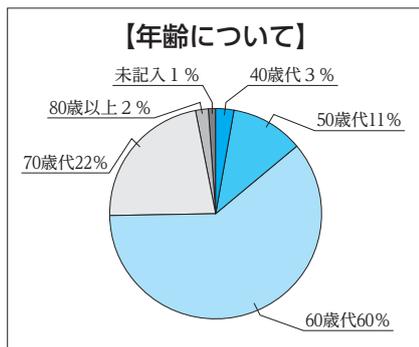
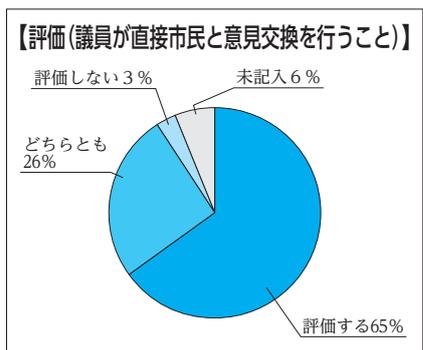
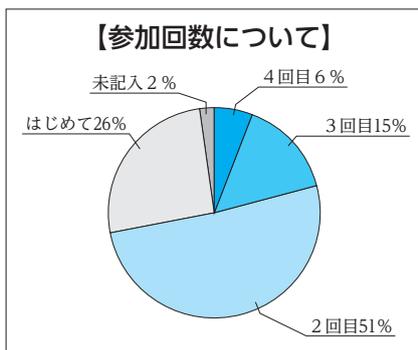
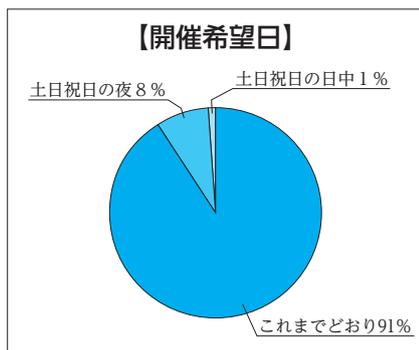
- *もっと多くの方が参加できるように工夫して欲しい。
- *全議員の意見を聞ければよかった。
- *今後も続けてください。
- *議員の方々が各地区で報告会を行うことは素晴らしいことです。これからも継続をよろしくお願いいたします。
- *議会日より少なかった。残念。前回のアンケートに答えていただきありがとうございます。ぜひ今夜のように(各団体2名以上)動員でない多数の参加を期待します。
- *議員の皆さんはこの意見交換会の運営をどう評価していますか。各々自分勝手な意見をどう受け止めていますか。参加者が多い方がいいのか、ほどほどの人数がいいのか難しいのではないのでしょうか。若い人へのアプローチをもっと進めていただきたい。投票率が50%を切るような選挙にならないような対策を議員の皆さんも知恵を出してください。すぐ結論が出ない議論は短めにまとめていただきたい。
- *意見交換会がもっとあるといいと思います。

議員・議会への要望等

- *議員に対する期末手当削減について、時間終了間際になり結論、方向を得ないまま終了しましたので、今回の第1班の議員の方々前向きに取り組みされることを要望いたします。
- *地区代表で議会に送って頂いた議員なので、いろいろな問題等には頑張って議会活動していただきたいものです。

アンケート

参加者数	天童南部			天童中部			天童北部			成生			蔵増			寺津			津山		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
	10	2	12	7	1	8	15	0	15	9	0	9	2	0	2	4	3	7	10	0	10
	山口			高掬			長岡			干布			荒谷			合計			アンケート		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	回答数	回答率	
	23	0	23	15	11	26	16	1	17	10	2	12	12	0	12	133	20	153	136	88.9%	



市民の声

天童に転入して、早60年になりますが、これまで議会を傍聴しながら「天童はどこを目指しているのだろうか」と勝手に想像し、期待しながら臨んできた自分があります。

天童は「温泉と将棋と果物の里」を売りとする観光都市を目指し、歴代の市長も事業を進めてきたと思いますが、市の長期・中期、そして短期計画が市民には伝わってこないところがあり、「観光議員」の出現を待ち望みながら、傍聴席に毎回足を運んでいます。私の願望を満たしてくれる積極的観光のPRを推進してくれる「先行型」議員の出現、行政では先行投資型事業を扱う「未来課」なる窓口を設置し、市民に夢

市議会に期待を込めて

斉藤 昭
(76歳・若松)

を持たせ官民一体となって運営する「事業計画」と、「まちづくり」を推進する型破りな議員の出現を切望しながら、天童に60年お世話になったささやかな恩返しのできる努力を観光ボランティア活動を通して精いっぱい頑張っています。

議員の皆様や行政OBの方も観光ボランティアに目を向けてくださるようお願いいたします。そうなれば議会も行政も、天童の観光事業に今更以上に関心を持ち、観光事業も議会での意見も活発となり、明るい天童の未来が見えてくるのではないのでしょうか。「未来課」の役割も大いに発揮でき、議会も今更以上に盛り上がり活発化し、天童の大きい発展に繋がっていくのではないのでしょうか。議会傍聴を通して、このような夢を一言述べさせていただきます。

9月定例会の日程(予定)

- 9月2日(金) 本会議(初日)
- 6日(火) 本会議(一般質問)
- 7日(水) 本会議(一般質問)
- 8日(木) 常任委員会
- 9日(金) 常任委員会
- 12日(月) 決算特別委員会
- 13日(火) 決算特別委員会
- 14日(水) 決算特別委員会
- 15日(木) 決算特別委員会
- 16日(金) 予算特別委員会
- 21日(水) 本会議(最終日)

※ 請願の締め切りは、8月25日(木) 正午までの予定です。
 ※ 日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。



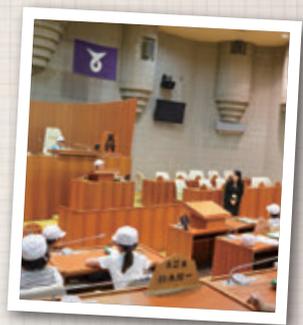
傍聴席

天童市議会 ギャラリー

5月19日、天童南部小学校3年生104名が社会科の校外学習で議場などを見学しました。



議員席



編集後記

● 横断歩道を渡り終えた大きなランドセルを背負った子供たちが、私の方を見てお辞儀をしてくれました。朝から感動です。この子供たちが大きな夢をもって成長して欲しい、そして将来天童を背負ってくれることを願うばかりです。そのためにもがんばらないと…。

● 議会の内容を知っていただけるよう、広報委員会として読みやすい、わかりやすい紙面づくりにがんばります。

《広報委員会》

委員長	伊藤 和子
副委員長	狩野 佳和
委員	佐藤 俊弥
委員	遠藤 喜昭
委員	三宅 和広
委員	笹原 隆義
委員	熊澤 光吏